感染症発生動向調査
2020年第38週
（9月14日～9月20日）

京都市感染症週報

京都市感染症情報センター
（ 京都市衛生環境研究所 ）

http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000175159.html

◆ 今週のコメント

・ **新型コロナウイルス感染症**の報告が36例（男性24例（10歳代9例，20歳代1例，30歳代5例，40歳代3例，50歳代4例，70歳代2例），女性12例（10歳代9例，20歳代1例，50歳代1例，70歳代1例））あり，本年の累積報告数は1,217例となりました。本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。

〇新型コロナウイルス感染症　最新の動向
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html

〇京都市衛生環境研究所にゅーす　令和2年度　第1号（通巻139号）（特集！ 新型コロナウイルス感染症！）
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000175/175313/news2020-01.pdf

・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が3例（50歳代男性1例（第37週追加報告分），80歳代男性2例（うち1例は第36週追加報告分））ありました。本年の累積報告数は22例となりました。

・ **梅毒**の報告が3例（20歳代女性2例及び40歳代女性1例）あり，全て感染地域は国内です。本年の累積報告数は48例となりました。

梅毒の感染経路はほとんどが性的接触です。不特定多数との性的接触を避け，コンドームの使用などの予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見，早期治療が非常に重要です。

◆ 今週のトピックス：＜新型コロナウイルス感染症＞

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数（感染者数）は，第38週の1週間で36例あり，前週に比べて報告数が微増したものの，第34週（8月17日～23日）以降報告数が減少傾向に転じています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

（性別，年齢，症状，感染地域※，感染経路※の順に掲載。ただし，結核は除く。）

・**二類：結核　6例（肺結核 2例，その他結核　3例，潜在性結核感染者 1例）うち喀痰塗抹陽性 1例**
【1月以降の累積報告数 187例（肺結核 86例，その他結核 38例，潜在性結核感染者 63例）うち喀痰塗抹陽性 39例】
・**指定感染症：新型コロナウイルス感染症 36例**【1月以降の累積報告数 1,217例】
・**五類：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例**【1月以降の累積報告数 22例】
・**五類：梅毒 3例**【1月以降の累積報告数 48例】

定点把握の主な感染症

（市内定点数　インフルエンザ定点69，小児科定点43，眼科定点10，基幹定点1）

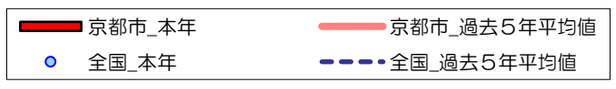
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ	インフルエンザ	0．00	0
小児科	①　感染性胃腸炎	1．49	64
（降順5位まで）	②　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0．63	27
	③　突発性発しん	0．33	14
	④　咽頭結膜熱	0．19	8
	⑤　ヘルパンギーナ	0．14	6
眼科	流行性角結膜炎	0．10	1

【次ページ以降の主な内容】

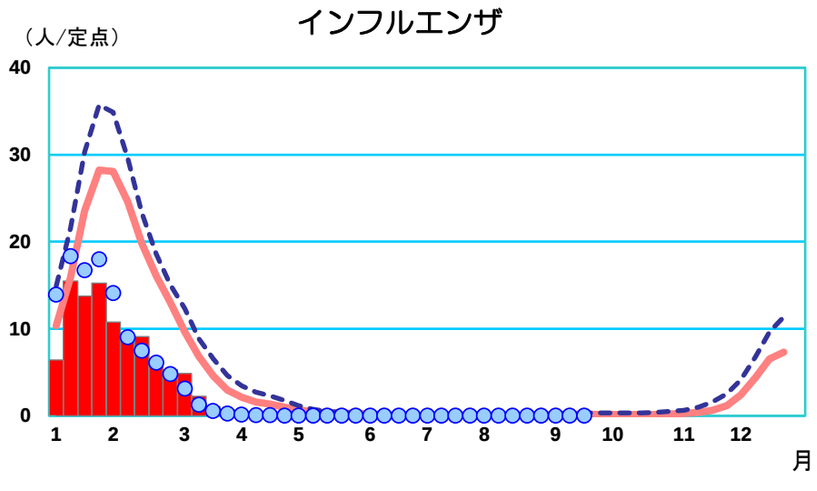
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス：＜新型コロナウイルス感染症＞
付表（疾病，行政区別報告数 / 年齢階級，疾病別報告数 / 週，疾病別報告数）

（ 注 ）京都市のデータは，2020年9月24日現在の報告数で，全国の還元データと若干異なる場合があります。
また，本情報での患者数は，届出医療機関所在地での集計で，患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

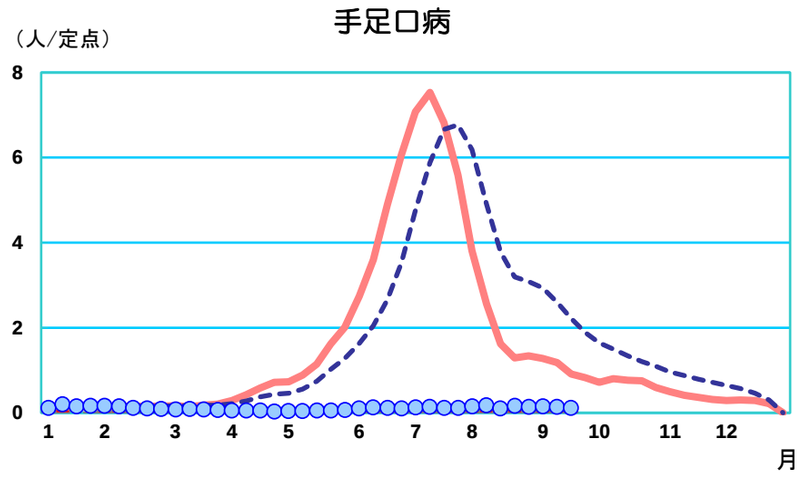
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2020年）



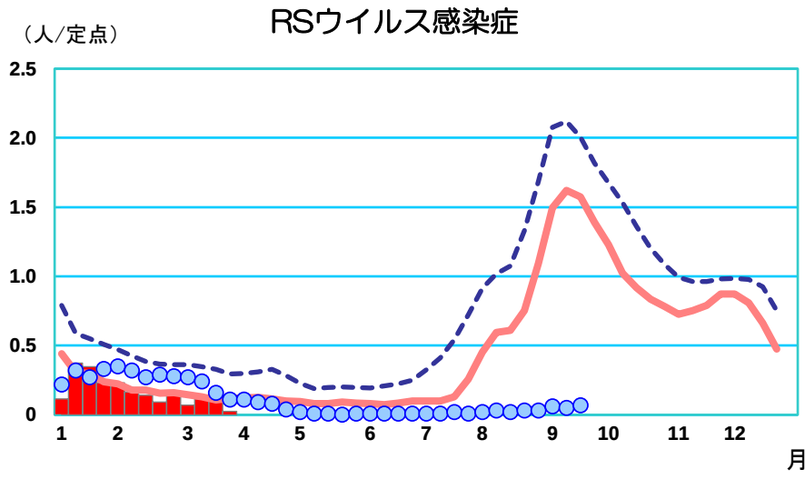
インフルエンザ



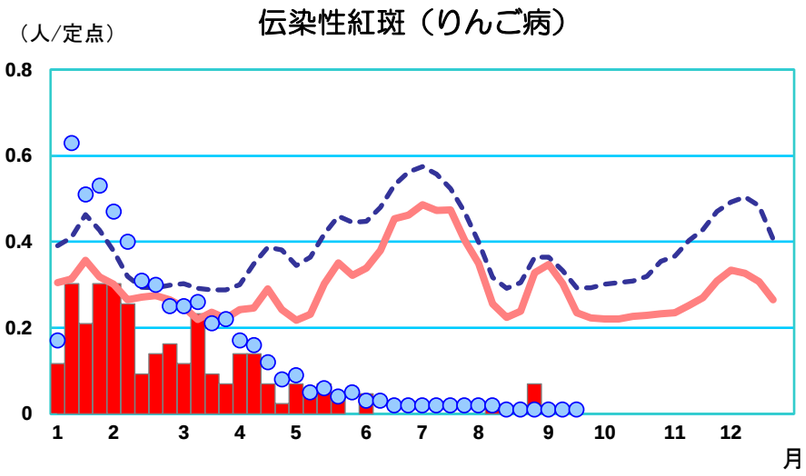
手足口病



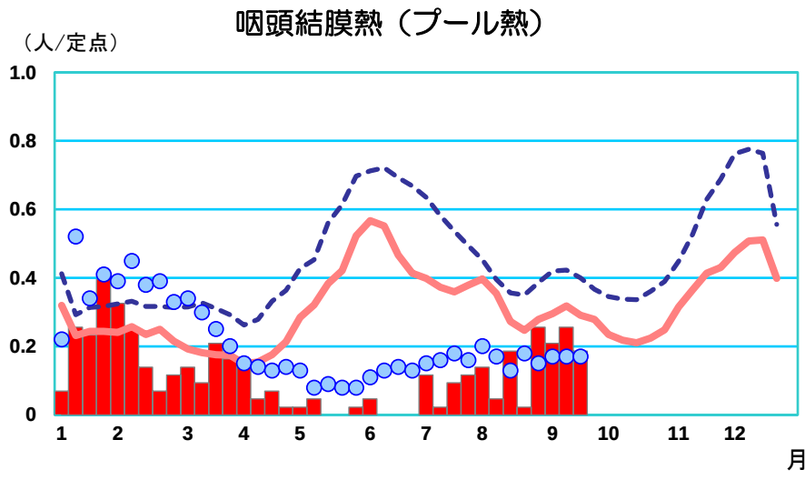
RSウイルス感染症



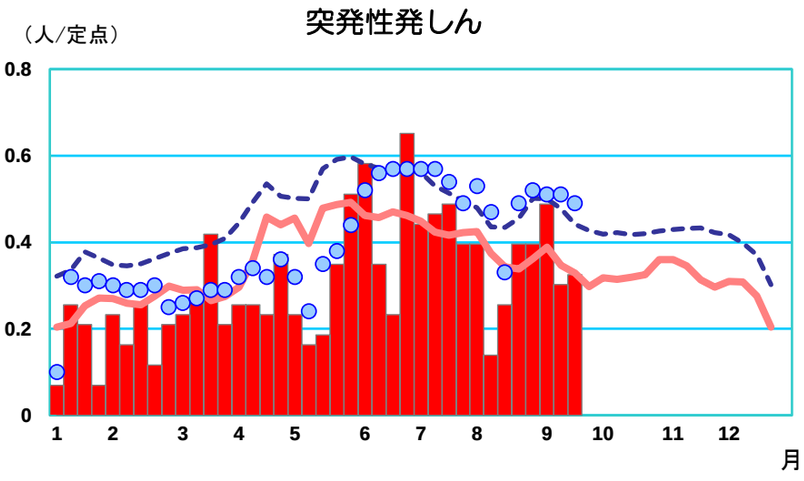
伝染性紅斑（りんご病）



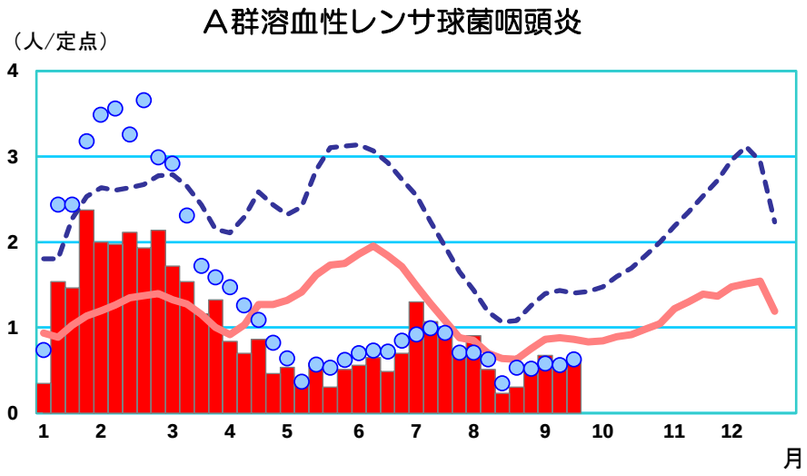
咽頭結膜熱（プール熱）



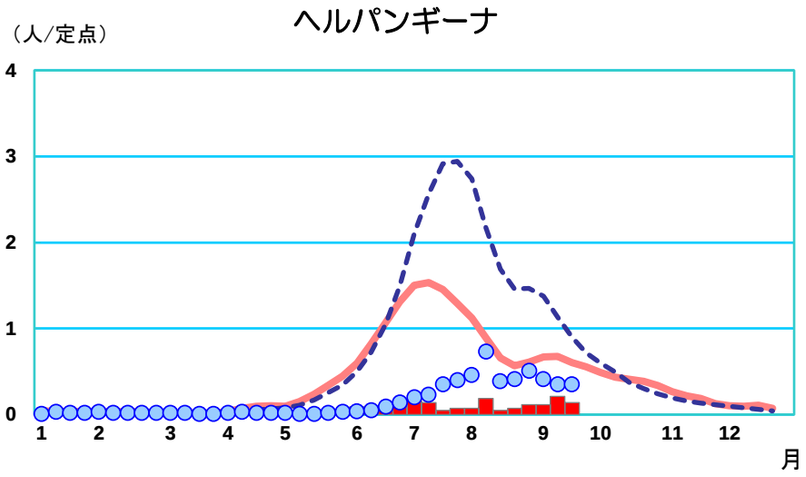
突発性発しん



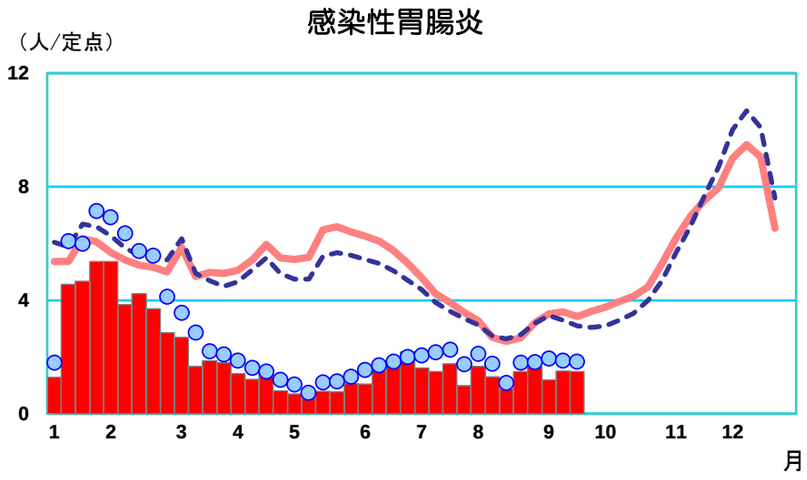
Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎



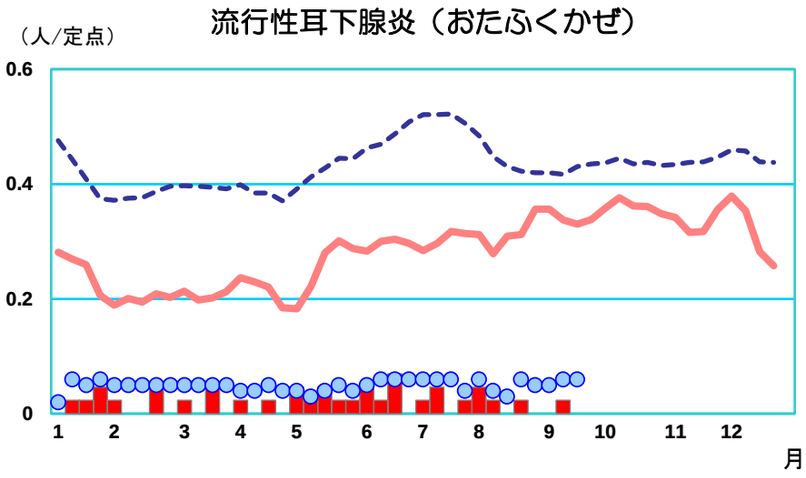
ヘルパンギーナ



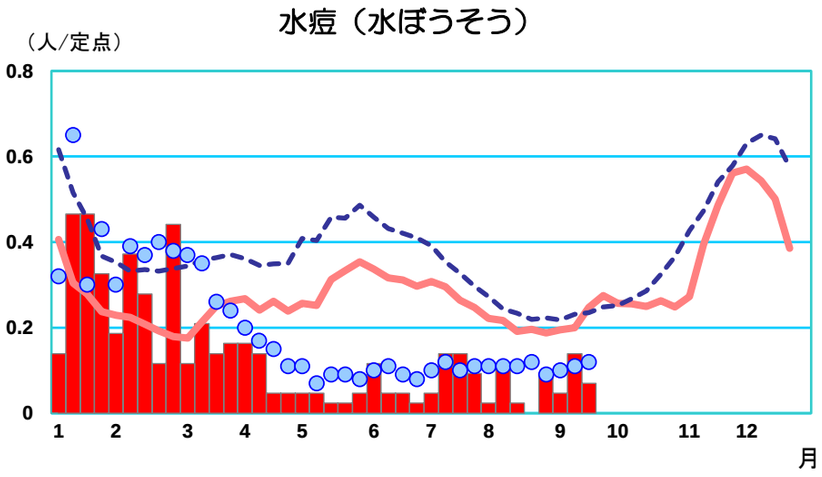
感染性胃腸炎



流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）



水痘（水ぼうそう）

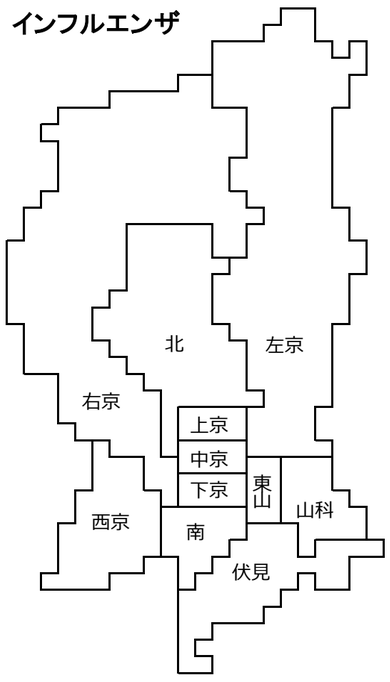


インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図　【２０２０年 第 38 週】

発生なし
発生あり
注意報
警報
（注意報及び警報の基準値は感染症右側に表示（「-」は設定なし））

※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがいまして，定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や「規模の大小の影響を受ける場合がありますので，ご注意ください。

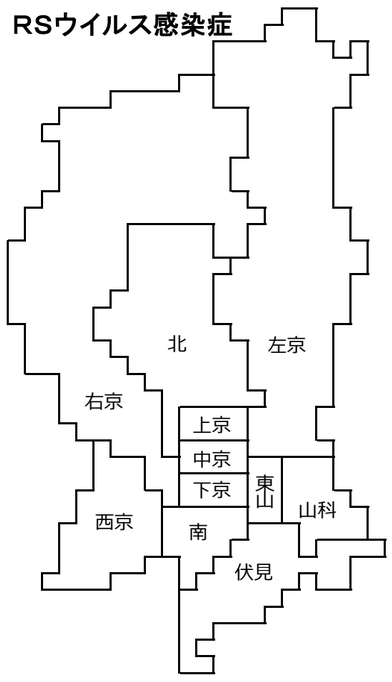
インフルエンザ



警報開始 30
警報終息 10
注意報 10

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

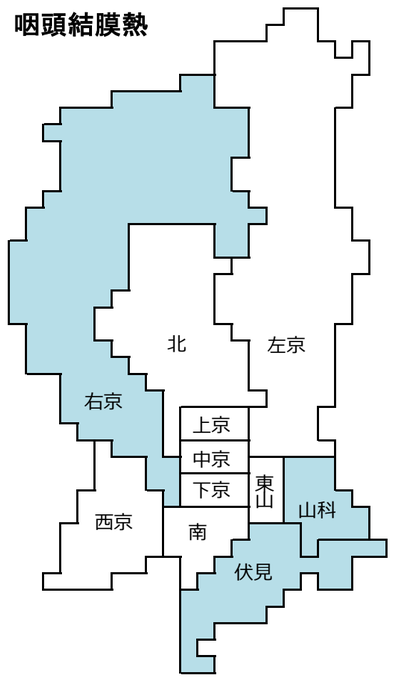
RSウイルス感染症



警報開始 －
警報終息 －
注意報 －

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

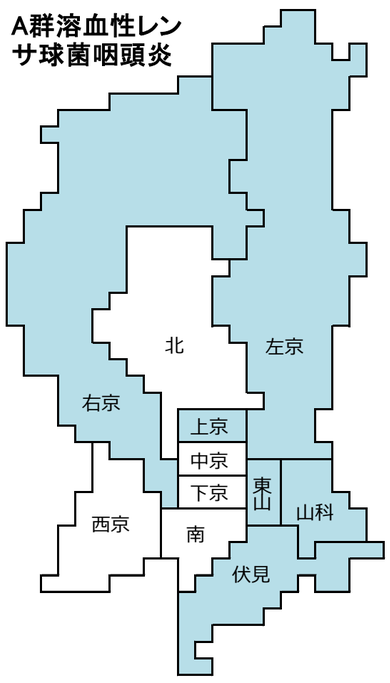
咽頭結膜熱



警報開始 3
警報終息 1
注意報 －

京都市 0.19	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0.40
下京	0
南	0
右京	0.60
伏見	0.43
西京	0

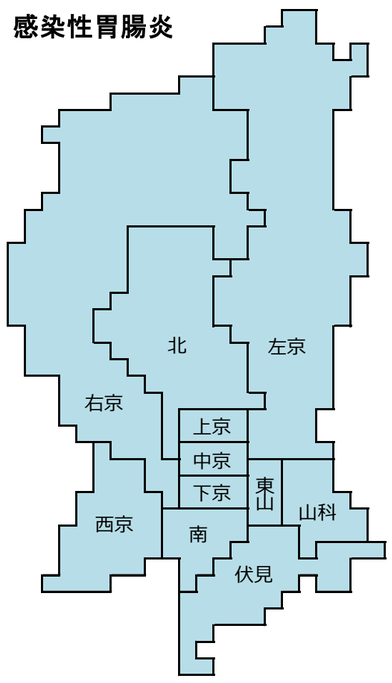
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



警報開始 8
警報終息 4
注意報 －

京都市 0.63	
北	0
上京	0.33
左京	0.25
中京	0
東山	0.50
山科	1.60
下京	0
南	0
右京	2.40
伏見	0.57
西京	0

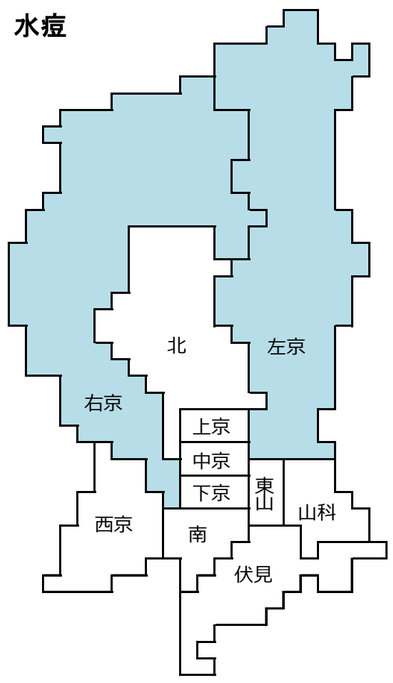
感染性胃腸炎



警報開始 20
警報終息 12
注意報 －

京都市 1.49	
北	0.50
上京	0.33
左京	1.50
中京	0.33
東山	1.00
山科	0.80
下京	0.50
南	2.00
右京	1.20
伏見	2.86
西京	3.00

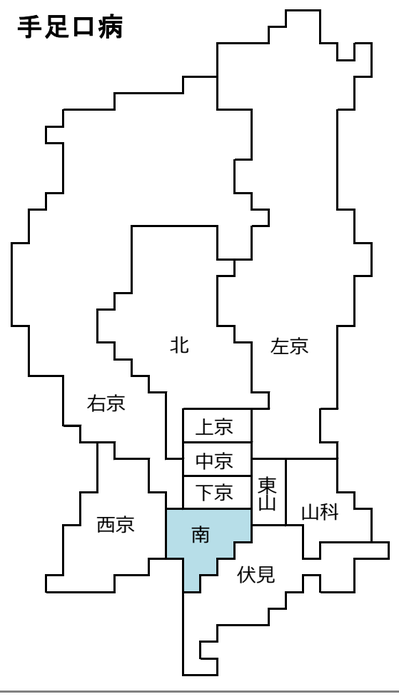
水痘



警報開始 2
警報終息 1
注意報 1

京都市 0.07	
北	0
上京	0
左京	0.50
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0.20
伏見	0
西京	0

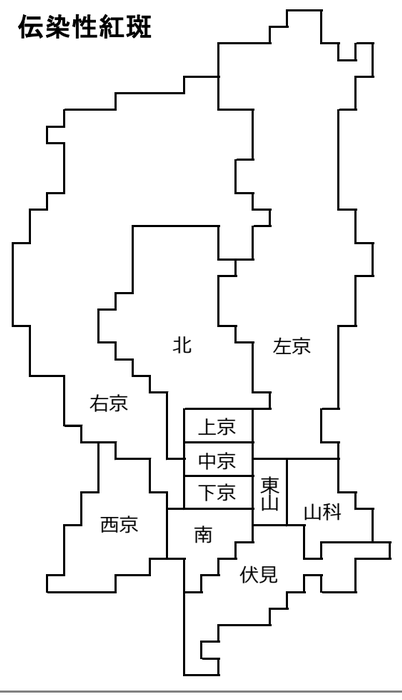
手足口病



警報開始 5
警報終息 2
注意報 －

京都市 0.02	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0.33
右京	0
伏見	0
西京	0

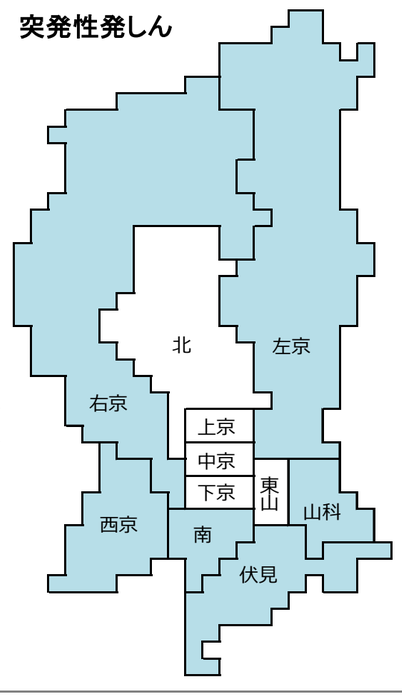
伝染性紅斑



警報開始 2
警報終息 1
注意報 －

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

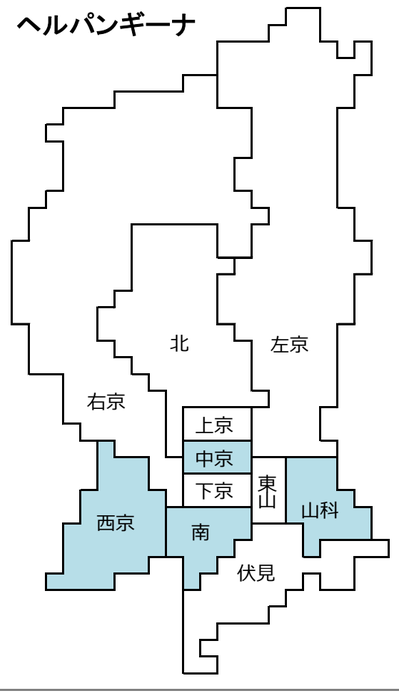
突発性発しん



警報開始 －
警報終息 －
注意報 －

京都市 0.33	
北	0
上京	0
左京	0.25
中京	0
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0.67
右京	0.20
伏見	0.86
西京	0.60

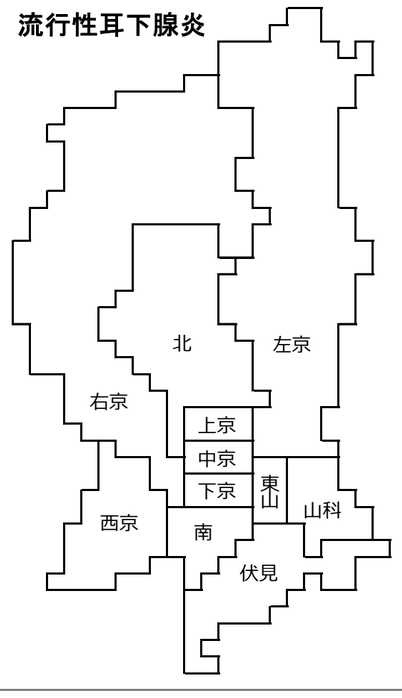
ヘルパンギーナ



警報開始 6
警報終息 2
注意報 －

京都市 0.14	
北	0
上京	0
左京	0
中京	1.00
東山	0
山科	0.20
下京	0
南	0.33
右京	0
伏見	0
西京	0.20

流行性耳下腺炎



警報開始 6
警報終息 2
注意報 3

京都市 0.00	
北	0
上京	0
左京	0
中京	0
東山	0
山科	0
下京	0
南	0
右京	0
伏見	0
西京	0

第38週（9月14日～9月20日）トピックス：＜新型コロナウイルス感染症＞

京都市で広報された新型コロナウイルス感染症のPCR検査陽性者数（感染者数）は，第38週の1週間で36例あり，前週に比べて報告数が微増したものの，第34週（8月17日～23日）以降報告数が減少傾向に転じています。また累積報告数は1,217例（男性613例，女性576例，未就学児の年齢性別非公表28例）となりました。（図1）

京都市の年齢階級別の感染者数を第20週までと21週以降で分けてみると，第1波が終わった後の21週目以降は若い世代に感染者が広まり，10歳代及び20歳代の報告が全体の40％以上を占めています（図2）。若い年齢層の感染者は，症状が軽度または無症状の方が多いため，自覚がない間に家族や周りの人に感染拡大し，集団感染がおこる，いわゆるクラスター事例にもつながっています。

感染者数等の状況に対し，京都府では3段階の警戒レベルを設定しており，これまで2番目の「警戒基準」でしたが，感染経路不明者数が9月23日までの7日間で1日平均1.86人となり，2人を下回ったため，警戒レベルを最も低い「注意喚起基準」に引き下げました（表1）。

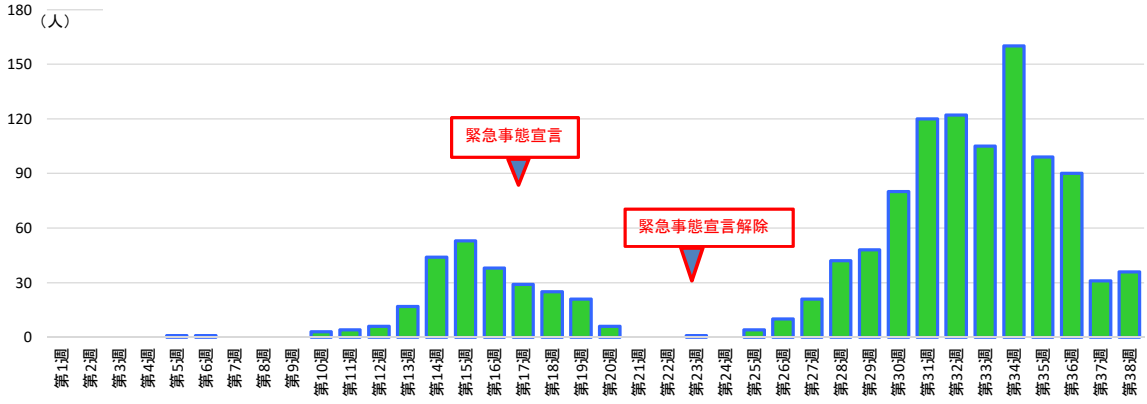
しかしながら，「Go To トラベル事業」や，10月からは「Go To Eatキャンペーン事業」も始まり，人の往来や飲食店での外食機会が増加するため今後の発生動向に注意が必要です。

市民の皆様には感染を防ぐために，引き続き三密（密閉空間・密集場所・密接）をできるだけ避けながら行動し，うがいと手洗い，マスクの装着など新しい生活様式を意識するようにしてください。

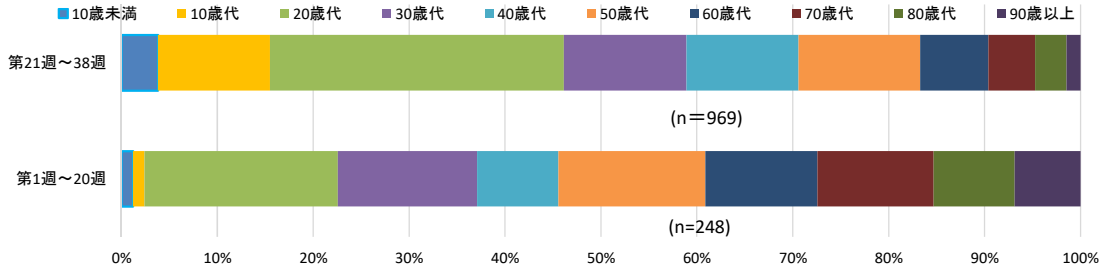
発熱やせき等の症状で受診したいときは，医療機関へ直接行かずに，まず電話でかかりつけ医等に相談するか，または下記に連絡した上で受診の相談をしましょう。

●新型コロナウイルス感染症専用電話相談窓口
専用電話番号　：　075－222－3421　（土・日・祝日を含む24時間対応）

（図1） 京都市の新型コロナウイルス感染症の感染者推移（第1週～第38週）



（図2） 第20週までと第21週以降で見る京都市の年齢階級別感染者割合（第1週～第38週）



（表1） 京都府のモニタリング指標の状況

注意喚起基準	警戒基準	特別警戒基準
・新規陽性者2名以上かつ感染経路不明者1名以上	・新規陽性者5名以上かつ感染経路不明者2名以上 又は ・重症者病床使用率20%以上	・新規陽性者20名以上 又は ・重症者病床使用率40%以上
○	―	―

指標	9月22日	9月23日
新規陽性者数（7日間平均）	8.71名	7.86名
新規陽性者数の前週増加比	1.3	1.1
新規陽性者における感染経路不明者数（7日間平均）	2.71名	1.86名
PCR検査陽性率（7日間平均）	2.2%	2%
重症者病床使用率	1.2%	1.2%

（京都府ホームページ）

参考情報

○厚生労働省では，新型コロナウイルス感染症に関する情報を掲載しています。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

○京都市では，新型コロナウイルス感染症の最新の動向を提供しています。
https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第38週

疾病,行政区別報告数　　2020年9月14日～2020年9月20日　　データ入手日:2020年9月24日

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	－	1	6	2	－	－	1	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	1	－	－	－	－	3	－	－	1	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	1	2	－	－	－	－	－	－							
山科	－	－	2	8	4	－	－	－	1	1	－	－	－					
下京	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	－	6	－	1	－	2	1	－							
右京	－	－	3	12	6	1	－	－	1	－	－	－	－					
伏見	－	－	3	4	20	－	－	－	6	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	15	－	－	－	3	1	－	－	－					
京都市計	－	－	8	27	64	3	1	－	14	6	－	－	1	－	－	－	－	－

疾病,行政区別定点当たり報告数

男女合計	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
北	－	－	－	－	0.50	－	－	－	－	－	－	－	－					
上京	－	－	－	0.33	0.33	－	－	－	－	－	－	－	－					
左京	－	－	－	0.25	1.50	0.50	－	－	0.25	－	－	－	－					
中京	－	－	－	－	0.33	－	－	－	－	1.00	－	－	0.50	－	－	－	－	－
東山	－	－	－	0.50	1.00	－	－	－	－	－	－							
山科	－	－	0.40	1.60	0.80	－	－	－	0.20	0.20	－	－	－					
下京	－	－	－	－	0.50	－	－	－	－	－	－							
南	－	－	－	－	2.00	－	0.33	－	0.67	0.33	－							
右京	－	－	0.60	2.40	1.20	0.20	－	－	0.20	－	－	－	－					
伏見	－	－	0.43	0.57	2.86	－	－	－	0.86	－	－	－	－					
西京	－	－	－	－	3.00	－	－	－	0.60	0.20	－	－	－					
京都市計	－	－	0.19	0.63	1.49	0.07	0.02	－	0.33	0.14	－	－	0.10	－	－	－	－	－

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第38週

年齢階級，疾病別報告数

2020年9月14日～2020年9月20日

データ入手日:2020年9月24日

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		8	－	1	6	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		27	－	1	3	6	2	6	1	1	2	1	2	－	－	2						
感染性胃腸炎		64	－	7	12	4	6	3	3	4	6	1	－	10	3	5						
水痘		3	－	－	－	－	1	－	2	－	－	－	－	－	－	－						
手足口病		1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		14	1	3	6	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		6	－	1	2	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級，疾病別定点当り報告数

京都市 男女合計	年齢1 年齢2 年齢3 年齢4	総数 総数 総数 総数	～5ケ月 ～5ケ月 ～5ケ月 0歳	～11ケ月 ～11ケ月 ～11ケ月 1歳-	1歳 1歳 1歳 5歳-	2歳 2歳 2歳 10歳-	3歳 3歳 3歳 15歳-	4歳 4歳 4歳 20歳-	5歳 5歳 5歳 25歳-	6歳 6歳 6歳 30歳-	7歳 7歳 7歳 35歳-	8歳 8歳 8歳 40歳-	9歳 9歳 9歳 45歳-	10歳- 10歳- 10歳- 50歳-	15歳- 15歳- 15歳- 55歳-	20歳- 20歳- 20歳以上 60歳-	30歳- 30歳- 65歳-	40歳- 40歳- 70歳以上	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症	年齢3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽頭結膜熱		0.19	－	0.02	0.14	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.63	－	0.02	0.07	0.14	0.05	0.14	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05	－	－	0.05						
感染性胃腸炎		1.49	－	0.16	0.28	0.09	0.14	0.07	0.07	0.09	0.14	0.02	－	0.23	0.07	0.12						
水痘		0.07	－	－	－	－	0.02	－	0.05	－	－	－	－	－	－	－						
手足口病		0.02	－	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
伝染性紅斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.33	0.02	0.07	0.14	0.05	0.05	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.14	－	0.02	0.05	0.02	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		0.10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.10	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。
※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2020年第38週

週，疾病別報告数　　データ入手日:2020年9月24日

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽頭結膜熱	8	1	11	9	11	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	13	24	29	26	27
感染性胃腸炎	37	64	71	51	65	64
水痘	1	–	4	2	6	3
手足口病	2	7	4	4	4	1
伝染性紅斑	–	–	3	–	–	–
突発性発しん	11	17	17	21	13	14
ヘルパンギーナ	2	3	5	5	9	6
流行性耳下腺炎	–	1	–	–	1	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	1	–	3	5	–	1
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	72	106	142	126	135	124

週，疾病別定点当たり報告数

京都市　　男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ（※1）	–	–	–	–	–	–
RSウイルス感染症	–	–	–	–	–	–
咽頭結膜熱	0.19	0.02	0.26	0.21	0.26	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.23	0.30	0.56	0.67	0.60	0.63
感染性胃腸炎	0.86	1.49	1.65	1.19	1.51	1.49
水痘	0.02	–	0.09	0.05	0.14	0.07
手足口病	0.05	0.16	0.09	0.09	0.09	0.02
伝染性紅斑	–	–	0.07	–	–	–
突発性発しん	0.26	0.40	0.40	0.49	0.30	0.33
ヘルパンギーナ	0.05	0.07	0.12	0.12	0.21	0.14
流行性耳下腺炎	–	0.02	–	–	0.02	–
急性出血性結膜炎	–	–	–	–	–	–
流行性角結膜炎	0.10	–	0.30	0.50	–	0.10
細菌性髄膜炎（※2）	–	–	–	–	–	–
無菌性髄膜炎	–	–	–	–	–	–
マイコプラズマ肺炎	–	–	–	–	–	–
クラミジア肺炎（※3）	–	–	–	–	–	–
感染性胃腸炎（※4）	–	–	–	–	–	–
合計	1.75	2.47	3.53	3.31	3.14	2.96

※1　インフルエンザは，鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが，新型インフルエンザのうち，A/H1N1については含む。

※2　細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3　クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4　感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。